

Gospitality ～おもてなし～

冬休みの教養科

【道教委主催 S-TEAM 教育推進事業「社会との共創」推進プロジェクト グローバル型 成果発表会】

1月10日(水)「社会との共創」推進プロジェクト成果発表会にて、英語で「男女共同参画問題」についてSDGs4番「質の高い教育」、5番「ジェンダーの平等」を踏まえた探究活動における仮説・検証活動・仮説の立証・この活動の価値について発表しました。

本校を含め、全道から8校が参加しましたが、どの発表もとても素晴らしく、とても多くのことを学ぶことができました。2月1日(木)は、北海道大学で開催される「探究チャレンジ・ジャパン」での発表に加え、生徒は大会運営業務にも携わります。



【日米・高校生環境サミット 2024】

1月16日(火)札幌ガーデンパレスにて、創志学園主催、ハワイ日米協会共催の「日米・高校生環境サミット 2024」に参加してきました。主催のクラーク記念国際高校、札幌南高校、札幌開成高校、北星学園女子高校、旭川北高校、ならびにハワイ州の高校の代表生徒が、環境問題において、北大の先生の講義を聴き、知見を深めながら、チーム提言を作成しました。

すべて英語で行われ、参加した高校生が積極的に議論を重ね、早期環境教育の重要性などについて、英語でプレゼンテーションしました。

本校代表として参加した2年生の西浦くんと鳥海さんも、環境問題について、改めて真剣に他校の高校生と英語で議論を重ね、かつ交流を深めていました。





北海道・ニュージーランド高校生交換留学促進事業

「北海道の高校生がニュージーランドの高校生宅に、2週間ホームステイをしながら、学校での授業や行事等に参加する事業です。令和2年度、北海道とエデュケーション・ニュージーランド間で教育分野の協力に関する覚書を締結したことをきっかけに動き出した本事業は、今年度初めて北海道から留学生を派遣します。来年度は、ニュージーランドから留学生が来道し、ホームステイをしながら道内の高校に通学する予定になっています（道教委ホームページより）。」

この度、この事業における最初の留学生として、道内の高校から選ばれた5名のうちの一人として、本校から1年3組の中村春菜さんが選出されました。3月9日（日）～24日（日）の2週間、ニュージーランドの北島にある首都ウェリントンから程近い「ワイヌイオマタ高校 Wainuiomata High School」で授業や行事などに参加することになります。

大学入学共通テスト

今回、リーディングの平均点が、1月19日（金）現在、ベネッセの速報で51.54点（100点満点）で、昨年度の53.81よりも低く、リスニングは67.24点（100点満点）で、昨年度の62.35点よりも高い数値となりました。いろいろな講評がなされてきていますが、特にリーディングにおいては、

【難易度】昨年並

【問題量】素材文語数は、昨年から約400語増加（約4500語→訳4900語）

とありました。どのような出題傾向になったとしても、冷静、緻密、かつスピーディーに英文を読み、内容把握、選択肢の吟味、正当の選択までにつなげていくには、日々の授業や活動に真剣に取り組み続けていくことに尽きると思います。なぜなら、

【出題形式】昨年と同様、全大問が読解形式であり、題材は日常的な文章から説明文まで様々なものが扱われた。設問では記述内容を問うものやプレゼンテーションのスライドを完成させるものなどが出題され、多面的に情報を処理する力が求められた。

とあるよう、日々の授業の活動に密接に関連しあっているからです。

いろいろなところで、実際に出題された問題・解答が掲載されていますので、まずは、自分の目で確かめてみてください！



独立行政法人

大学入試センター

National Center for University
Entrance Examinations

第3回 実用英語技能検定

今年度最後になる英検1次試験が1月14日（日）、準会場として認定されている本校で実施されました。1次試験の結果が2月5日（月）午後ウェブに掲載され、合格者は2月18日（日）の2次面接試験に挑みます。その翌日2月19日（月）～22日（木）までが後期期末考査となっております。計画的な学習を進めていってください。

また、みなさんも知っている通り、来年度（2024年度）から、英検の出題方法がリニューアルされます（新たな出題形式である「要約」（1, 準1, 2級）と、「Eメール」（準2, 3級）など、読み取った内容に基づいて書き表す、ReadingとWritingを統合した形式の問題が加わります）。別添で資料をつけてありますので、今後の参考にしてください。



後援：文庫科学館